



# 葬送と墓制の現在

□オンライン開催

死生学研究所ホームページから  
お申込みください

□お申込み締め切り

2024年12月11日(水) 17時

□お問合せ 死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□先着 100名様

□参加費 無料

## 第7回連続講座

## 新島典子

ヤマザキ動物看護大学  
動物看護学部教授  
(にいじまのりこ)

12月14日(土)  
16:20-17:50

## ペットロスの困難と ペット葬儀の多様化

### ■プロフィール

2005年東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学。同大学院COE「死生学の構築」特任研究員、2008年ヤマザキ動物看護短期大学准教授、ヤマザキ学園大学を経て、現在ヤマザキ動物看護大学・同大学院動物看護学研究科教授。愛玩動物看護師国家試験委員。専門は、社会学、死生学、動物人間関係学。

### ■主要業績

共編著に『ヒトと動物の死生学』(秋山書店、2011)。共著に『東大ハチ公物語』(東京大学出版会、2015)、『動物のいのちを考える』(朝日社、2015)、*Companion Animals in Everyday Life* (Palgrave Macmillan, 2016)、『動物の事典』(朝倉書店、2020)、『家族社会学事典』(丸善出版、2023)、『猫社会学、はじめます』(筑摩書房、2024)などがある。

### 内容紹介：

少子高齢化や単身世帯化、コミュニティの弱体化がみられる現代日本社会では、犬や猫、愛玩鳥ほかのペット(あるいは、コンパニオンアニマル)が、人間の伴侶やきょうだい、子どもの代わりに大切に飼育されています。しかし、ペットの長寿命化も進み、長期介護の末にペットを看取る事例や、高齢飼い主が高齢ペットを看る「老々介護」も増えています。本日は、長い時間をともに過ごしたペットとの死別や生き別れにより生じる悲嘆、いわゆるペットロスがなぜつらいのかについて社会学の視点から検討後、ペットロスの困難をやわらげる一方途として近年多様化がみられるペット葬儀や供養のあり方、ペット墓の継承の問題などについてご一緒に考えて参りたく存じます。

Annual  
of the Institute  
for Life and Death Studies,  
Toyo Eiwa University

### 死生学年報

●看取りの文化を構想する

2024

東洋英和女学院大学  
死生学研究所編



LITHON

東洋英和女学院大学死生学研究所編

## 死生学年報2024

### 「看取りの文化を構想する」

◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます

◆お問い合わせ 東洋英和女学院大学 死生学研究所

shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

お申込みはこちら

